

せせらぎ

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己№1～24・外部№1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	2	
理念に基づく運営	1		1 理念の共有(自己№1～3・外部№1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部評価1	○ 地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域とのふれあいを大切にして、地域に溶け込むと謳っている。	0	
	1 理念の共有	2 外部評価2	○ 理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の申し送り、月1回のカンファレンスにおいて、具体的にケアが理念に基づいているか確認している。	0	
		3	○ 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ご家族には家族面会時お便りの中等で地域の方達にはボランティアに来訪の折や見学の際説明させてもらっている。	0	
	2		2 地域との支え合い(自己№4～6・外部№3)	自己評価3項目・外部評価1項目	0	
		4	○ 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	気候が良くなると近所の散歩を楽しんでいる。アジサイ道路は毎年、名前を教えてもらったりしている。お隣の短大構内も桜、八重等近所の方も一緒に見学させてもらっている。	0	
		5 外部評価3	○ 地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣の小学校、大学の文化祭、地区の盆踊り、バザーに参加したり、見学に行ったりする。小学生の和太鼓演奏、地区のボランティアによる演芸は回数も多く、毎月1回だが清掃活動に参加している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合 と いの	6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	人材育成に少しでも役立てたらと実習生の受け入れを行い、感想を回覧して回し、職員も反省材料にしている。職員の一人が地区老人会の旅行に毎年同行し車椅子の方等の援助をしたり共に楽しんでいる。	0	
	3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己№7～11・外部№4～7)		自己評価5項目・外部評価4項目	2	
	3 理念を実践するための制度の理解と活用	7 外部評価4	○評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果については、報告をきちんと行い、できそうな項目から行動をおこしている。	0	
		8 外部評価5	○運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	最初は固かった話し合いも、緊張が少しずつとれ、双方話し合いやすくなったと多くの意見をもらい、できることは努力したい。	0	
		9 外部評価6	○市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる		1	福祉関係で大変お世話になった市町村担当者の方との交流はこれからの課題である。
		10 外部評価7	○権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	今年度は3月の勉強会で取り上げている。今のところ当ユニットでの活用は無い。	1	必要な時は支援できるようにしておきたい。
		11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	やはり勉強会の中で学習している。しっかり理解されていると思う。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づき運営		4	理念を実践するための体制(自己№12～18・外部№8～10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
		12	○ 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は重要事項説明を丁寧に行っている。特にグループホームなので医療的な面でできる範囲と医療連携体制、そして他科受診等の場合について説明し、同意を頂いている。	0	
		13	○ 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者さんと共に生活していると捉えているのが、きちんと一線は引いて意見や不満に思っていることを話してもらえよう働きかけている。	0	
	4	14 外部評価8	○ 家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回お便りを出し、最近のご様子と題して報告している。金銭に関しては出納帳コピーと領収証を定期的にお送りする。	0	
	理念を実践するための体制	15 外部評価9	○ 運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時には笑顔でこちらから声かけし、どんな時でも言いやすいようにしている。利用者さんが、ご家族に不満等訴えられなかったかも聞きする。外でお会いした時も声をかけお話を聞いている。	0	
		16	○ 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	普段の申し送り時、日常のコミュニケーションの中の方が聞きやすい。その意見等は申し送りに記し検討するようにしている。	0	
		17	○ 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	全員きちんとシフト組まれているが、利用者さんの状態によっては時間外という手もある。対応については快く引き受けてもらい協力してもらっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4 理 念 を 実 践 す	18 外 部 評 価 10	○ 職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	平成18年4月よりスタッフは変わっていない。 それ以前も大きく変化はみられない。	0	
	5	人材の育成と支援(自己№19～24・外部№11～14)		自己評価6項目・外部評価4項目	0	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19 外 部 評 価 11	○ 人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	毎月の勉強会は全職員対応となっており、出席できない人も資料配布し勉強してもらっている。研修参加の際、他職員と話し合い工夫している。	0	
		20 外 部 評 価 12	○ 人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	勉強会で入居者の尊厳と題して、特に言葉使いを徹底して練習した。	0	
		21 外 部 評 価 13	○ 職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	様々な研修会案内、回覧できたり、一階案内所に設置されている勤務は職員間で調整している。	0	
		22 外 部 評 価 14	○ 同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会等で、他のグループホームの方と話したりする機会はあるが、同業者ネットワークに加入したりという事はない。勉強会に少数だが同業者の方が来られる。	0	
		23	○ 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	勉強会の後、軽食を囲み慰労会を開く時や、今後旅行も企画されている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営会議において大分前より、職能評価という事を話されている。今回実際に評価してみた。これからを期待したい。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2 (自己№25～34・外部№15～16)				自己評価 1 0 項目・外部評価 2 項目	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己№25～28・外部№15)	自己評価 4 項目・外部評価 1 項目	0	
		25	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人様から詳しく話を聞く機会は入居されてからの方が多く、利用までにはご家族様やケアマネ担当からが多い。	0	
		26	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	お話はよく聞くようにしている。次に相談という段階を踏む。	0	
		27	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護支援事業所も併設されているので、ケアマネにも相談でき、対応は柔軟適切に行える。	0	
		28	○馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	当初は安全に留意して、ゆっくり落ち着いて生活して頂いている。	0	
		2	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価№29～34・外部評価№16)	自己評価 6 項目・外部評価 1 項目	0	
	係り2 継続 へ の ま で の 支 援	29	○本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらから喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の方とは個別でも、皆さんと一緒に話す機会が多い。午前中の茶話会ではおしゃべりに花が咲き、昔の事、土地柄の事、たくさん教えていただいている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者さんの毎日の生活、お話していた事をできるだけお伝えし、御家族からのお話を引き出す様にしている。	0	
		31	○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時入居者の方の顔付きが明るくなる。毎月のお便りにも普段ご家族のお話をたくさんされる事、そして喜んでいらっしゃる事を記している。	0	
		32	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居される以前に行っていた美容院、理容店に引き続き通っておられる方3名いらっしゃる。又近所の八百屋さんに前から知り合いと喜ばれるので一緒に買い物に行く。	0	
		33	○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ホールでの席を関係把握して座って頂いている。皆で一緒に何かして過ごす時は一つのテーブルに集まっている。	0	
		34	○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	自宅に帰られた方は、デイサービスに通っておられるので、話す機会も多く近くの施設に移られた方も、たまに遊びにいらしたりお会いするとお話する。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己№35～51・外部№17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	1	
	1	一人ひとりの把握(自己№35～37・外部№17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	○ 思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の係わり合いの中で話をする事により、全職員が各々把握するよう努めているので、その意見を出し合い話し合っている。違う見方、深い捉え方など参考になる。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時前の様々な情報から得るが、実際に入居なされてから徐々にお話を伺ってそれを職員皆で共有し、更に深くするようにしている。	0	
		37	○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	お一人お一人の事を記した毎日の申し送りノートと言葉による申し送りで把握するようにしている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己№38～40・外部№18～19)		自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0	
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価 18	○ チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者と職員間の会話はかなり多い。その中から感じたことを申し送りしたり、毎月のカンファレンスで取り上げる。面会の折、家族の方には必ずお話伺うようにしている。	0	
		39 外部評価 19	○ 現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎のケアプランたて直しと毎月の見直し、その際ケアプラン表には赤記して分かりやすいようにする。	0	
		40	○ 個別の記録と実戦への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎月、申し送りノートお一人づつ、夜勤、日勤と記しており（詳しいことは介護日誌）常に職員同士話し合い、よいアイデアがあれば実践してみ、又考えるという風になっている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己№41・外部№20)		自己評価 1 項目・外部評価 1 項目	0	
	3 柔軟な支援	41 外部評価 20	○ 事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	居室の関係によるが今まで数名の方のショートスティを受け入れた。医療連携体制を活用して点滴処方を受けながら生活できた方が今夏いらした。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己№42～51・外部№21～22)	自己評価 10 項目・外部評価 2 項目	1	
	4	42	○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議に参加して下さり、知り合いになった民生委員の方で、実習生、ボランティアさんから協力をいただいている。又施設周辺の交番、火災訓練等で消防署の協力を得ている。	0	
	4	43	○ 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	現在、他のサービスを利用していないが、必要とする方が出てこられれば支援したい。	0	
	4	44	○ 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している		1	我ユニットでは今の所協働できていない。これを機に地域包括支援センターに情報と協力をお願いしたい。
	45	外部評価 21	○ かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医療機関の整形外科、内科の他眼科、皮膚科、歯科等御希望される受診の支援を行っている。	0	
	46		○ 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	すぐ前にある歯科大の心療内科とか、脳神経外科や精神科の医師に診断、治療についてお願いしたい事がある。	0	
	47		○ 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職、配置されている。利用者を良く理解しており、出勤していない時も連絡取れるようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	48	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	提携医療機関近くであり、病院関係者の方とは常に情報交換でき相談も行える。	0		
		49 外部評価22	○重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	97歳の方の場合、体調崩された段階から看護師に主導的立場になってもらい医師、御本人、家族と何度も話し合い方針を決定した。	0		
		50	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化した場合、医療的な事に関してはできない事が多い。医療機関と連携を図っているがより良い対策案は検討を続けている。	0		
		51	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	自宅に帰られたり、他に移られた方に対しては担当ケアマネージャーに十分な情報の提供、話し合いを行った。	0		
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己№52～89・外部№23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	0		
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	1 その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己№52～81・外部№23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	0		
		1 その人らしい暮らしの支援	(1) 一人ひとり尊重(自己№52～54・外部№23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
			52 外部評価23	○プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	高齢者の方は、耳の遠い方が多いので大きな声で話す事になるので、言葉かけは気をつけている。	0	
			53	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	働きかけは常日頃の話し合いで各々の方の自然な形で行われるようになっている。何かやる場合、ご自分自身の決定を働きかけている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	○ 日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一応メリハリのある生活を考え最低限度のスケジュールはあるが、ゆっくり過ごされている。午前はちょっとした計算と音読、歌など。午後リハビリ体操、手足運動を取り入れADL維持に努めている。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己№55～60・外部№25～26)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	0	
		55	○ 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	御家族の方が今まで行っていた所にお連れしてくれる方が3名いる。他の方は希望をお聞きしてカットしている。	0	
		56 外部評価 25	○ 食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	作っているのはおやつのみだが食事の際、盛り付け、食器片付けは一緒にし、食事も共にする。	0	
		57	○ 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒、煙草については要求無い。飲み物は茶話会時お一人おひとりお聞きする。	0	
		58	○ 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のバターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表や排便について確認できる様記録している。性状、量についても記し、薬対応も細かく調整するようにしている。	0	
		59 外部評価 26	○ 入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴をされれば気持ちよかったと喜ばれるが、入浴を嫌う方が多く、様々な工夫が必要というのが実情である。他の方は好きな時に入ってもらっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	○ 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼食後、小1時間程の午睡を取ってもらっている。一週間毎のシーツ交換、毎朝できる方は一緒にベッドメイク、換気を行い何時も気持ちよく過ごせるようにしている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己№61～66・外部№27～28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部評価27	○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	できる範囲内で、掃除等毎日していただく。歌やゲームなど皆さんとても喜んでくださる。	0	
		62	○ お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小額だが財布、御自分で持っている方7名いる。買い物に同行する際、支払い手伝うが御自分でやってもらう。	0	
		63 外部評価28	○ 日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は体調良く、本人の希望あればできるだけ戸外の空気を吸ってもらうようにしている。	0	
		64	○ 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご本人の希望、家族に相談している。すぐに実現できなくても考えていて下さる様で、現実になった時もある。	0	
		65	○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	耳も遠くなり、自分から電話したいと言ってくれる方少ないが、希望時はいつでも援助する。手紙を書く練習をし、今から年賀状を出そうと計画している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	出張の帰り、一番先におみやげをと夜お寄り下さる方もいる。入居者の方のお部屋に人数分の椅子をお持ちしてゆっくりして頂いている。	0	
		(4)	安心と安全を支える支援(自己№67～74・外部№29～30)	自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	0	
		67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会の項目にももちろん有り、しっかり把握している。	0	
		68 外部評価 29	○鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	帰宅願望に対する対応の仕方を常に職員で情報を話し合っている。又、他のユニットの職員の協力体制もできている。	0	
		69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は日中ほとんどフロアで一緒に過ごし記録もそこで行い、全体見渡せるスタッフルームで行う、さり気なく見守り声かけをしている。夜間は時間毎の巡視とトイレ覚醒時の対応を即可能な見渡せる場所で仕事している。	0	
		70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	普通家庭と同じように使う場所に鍵などかけず置いている。使用後はきちんと元に戻し確認する。裁縫道具などは自分で持っている人と必要な時にお出する人がいる。	0	
		71	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	勉強会でも学習し、火災訓練も定期的の実施している。事故防止に力を入れたい。特に転倒について整理整頓と利用者さんの下肢筋力低下防止に毎日少しだが運動している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	当施設に於ても、消防署の協力で実施訓練を行った。又当ユニット職員も個々で受講しているが技能を維持させるため少なくとも2年毎に再受講する様にしたい。	0	
		73 外部評価 30	○災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練定期的に実施している。地域の協力体制に関しては、運営推進会議で話題になったりお互いに協力しましょうという事になった。	0	
		74	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	ご家族にはきちんと説明と対応策を話している。その後の経過については面会時、毎月のお便りの中に記し意見もお聞きするようにしている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己№75～81・外部№31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルチェックを行い、変化に気をつけているが、様子観察をしっかり行い異常発見する方が大切と話している。看護師、医師への報告を迅速に行っている。	0	
		76	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬、ノートが常に同じ場所にあり、確認できる。毎月のプラン見直しの際、服薬にて看護師より教え受けている。	0	
		77	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	薬に頼るばかりではなく、自然にということを話し合っている。牛乳をきちんと飲む、おやつにヨーグルト、家事や運動を取り入れている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	○ 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	最近では声かけを必要とする方が少ない位、皆さん自分で洗面所へいかれるようになった。お一人、極たまにだか義歯を外してもらうのも難しい方がおられるが、声かけを行い支援している。	0	
		79 外部評価31	○ 栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事チェック量は毎日きちんと記録されている。水分量については必要な方のみチェックしている。	0	
		80	○ 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	勉強会の折、常に話題として取り上げられている。手洗いうがいは毎日励行。インフルエンザ予防接種は必ず受け、共有部分は毎日しっかり掃除している。	0	
		81	○ 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	フキンは枚数多く用意しており、漂白、乾燥させている。おやつ材料と飲み物を入れている冷蔵庫はぎっしり詰まっていないので常に掃除しやすい。	0	
	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)～(2) (自己№82～89・外部№32～33)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	(1) 居心地のよい環境づくり (自己№82～86・外部№32～33)		自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	0	
		82	○ 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	現在、工事中で何ともいえない。出来上がり次第、出入りしやすいよう工夫したい。	0	
		83 外部評価32	○ 居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	においに伴って換気や明かりに一番気をつけている。安全と清潔、あまりごてごてしないようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った方同士でホールの席決まっており、その他テレビの前一人用椅子用意して過ごす方もいる。	0	
		85 外部評価 33	○居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真、花、手作りの作品、などご自分で好きなように飾っている。	0	
		86	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	午前、午後換気行っている。今夏、室内でも熱中症になるというので、細めに温度調節行った。	0	
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己№87～89)		自己評価3項目	0	
		87	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ、廊下、お風呂には手すりがあり、大きな施設ではないので家庭のように伝い歩き可能、見守り声かけて自立を心掛けている。	0	
		88	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一名の方の為に、トイレに張り紙している。その方はトイレに入る前必ず声を出して「ノックをしましょう」と読んでから使用している。	0	
		89	○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダが狭いのであまり利用できないが食物育てており、好きな方には付き添って水遣りしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	該当 番号	
サ ー ビ ス の 成 果 に 関 する 項 目	90	○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2 / 3 くらいの 利用者の1 / 3 くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1 回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	1		
	93	○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	2		
	94	○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	2		
	95	○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	1		
	96	○利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	1		
	97	○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2 / 3 くらいと 家族の1 / 3 くらいと ほとんどできていない	1		
	98	○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	○職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2 / 3 くらいが 職員の1 / 3 くらいが ほとんどいない	2	
		101	○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3 くらいが 利用者の1 / 3 くらいが ほとんどいない	1	
		102	○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2 / 3 くらいと 家族等の1 / 3 くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	該当 番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。